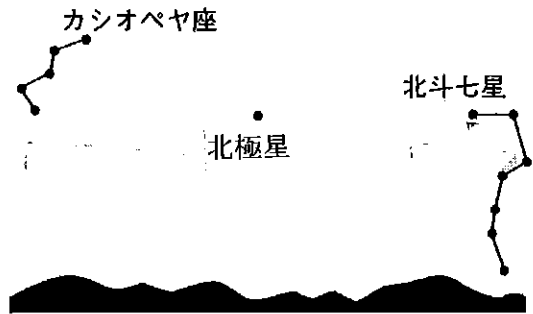


見頃……

秋も深まり、紅葉が見頃の季節となりました。先日、長崎のローカルニュースでも、「雲仙が紅葉の季節を迎えた。ただ、この時期、雲仙道が渋滞となってしまっていて仁田峠まで行けず、入口でUターンする車も少なくない。その対応を検討している。」と報じていました。私達も近場すぎて、逆に雲仙に登る機会が少ないのですが、せっかくの「紅葉の季節」です。家族で雲仙登山を行うのも一考だと思います。

見頃は「紅葉」だけではありません。これからは、「星の観測」も見頃です。私は朝、1時間程度歩いています。今の時期、朝日が昇り始める1時間前(朝5時前後)、本当に星空がきれいです。空気が澄んでいて月明かりが少なく、各家庭の電灯もほとんどついておらず、暗闇に近い状態。何より南の空(というより、ほぼ頭上)にオリオン座、北の空には北極星、それを挟むように北斗七星とカシオペア座がきれいに見えます。昔から「早起きは三文の徳(得)」と言いますが、ちょっと早起きするだけで、得した気分になります。何より、自分の家からでも見られるというのがいいですね。ちなみに、「三文」は今のお金に換算すると100円ぐらいで、ここでいう「三文」とは「ごくわずか」というニュアンスです。真冬になると乾燥してより鮮明に見えますが、寒さが厳しくなり、夜に外に出るのは勇気がいります。だからこそ、今が見頃なのです。ちょっと早起きして、家族で「天体観測」にトライしてほしいと思います。



小春日和



以前も話題に上げたと思います。この「小春日和」。春の言葉だと勘違いされますが、晩秋から初冬にかけての、暖かく穏やかな晴天を意味した言葉です。

さて、先週の金曜日、少し寒いのではないかと心配していましたが、小春日和のなか、2学期最大の学校行事である文化発表会・合唱コンクールを実施することができました。テーマ「飛躍飛翔～みんなで創る史上最高の舞台～」のもと、熱い思いと懸命に準備・練習した成果を、しっかり表現してくれました。

1年生は初めての合唱！！とは思えないほどの堂々とした歌声。「今年はレベルが高いなあ」と舌を巻きました。2年生、去年と違い学年合唱。人数も40名を越え、重奏なハーモニーに体がふるえました。最後を締めくくる3年生。完成度の高い歌声で会場を魅了し、涙が出るほどの感動を覚えました。「流石3年生、後輩に範を示したな！！」本当に感心しきりでした。まだ、それに先立って行われた3年生の演劇。合唱と並行しての準備・練習でしたが、見事に「史上最高の舞台」を披露してくれました。全てが素晴らしいステージで、終わって、「小春日和」のような穏やかな気持ちになりました。